



老朽化が進み、新築移転を進めていた矢先の日野病院



急ぎよ移転が早まり、準備に追われる



移転まで仮の施設で診療を再開、待合所は野外テントで



屋外避難した入所者（老人保健施設・おしどり荘）



避難先で患者の容体を気遣う、翌日には他の病院に搬送
(写真：山陰中央新報社)



日野病院は患者の安全確保のため、64人を根雨社会体育館に一時避難（写真：共同通信社）



住民どうしの助け合い活動を展開（下種2区自治会）



震災後10月8日から町文化センター・ホワイエに災害ボランティアセンターを設置



避難所は、町内で12か所開設、自主避難のほか2か所には避難勧告も（黒坂小学校体育館）



自宅の安全が確保されるまで避難生活が続けられた（菅福小学校体育館）



自分たちの地域は自分たちで守る、さっそく炊き出しも（黒坂地区コミュニティ推進協議会）



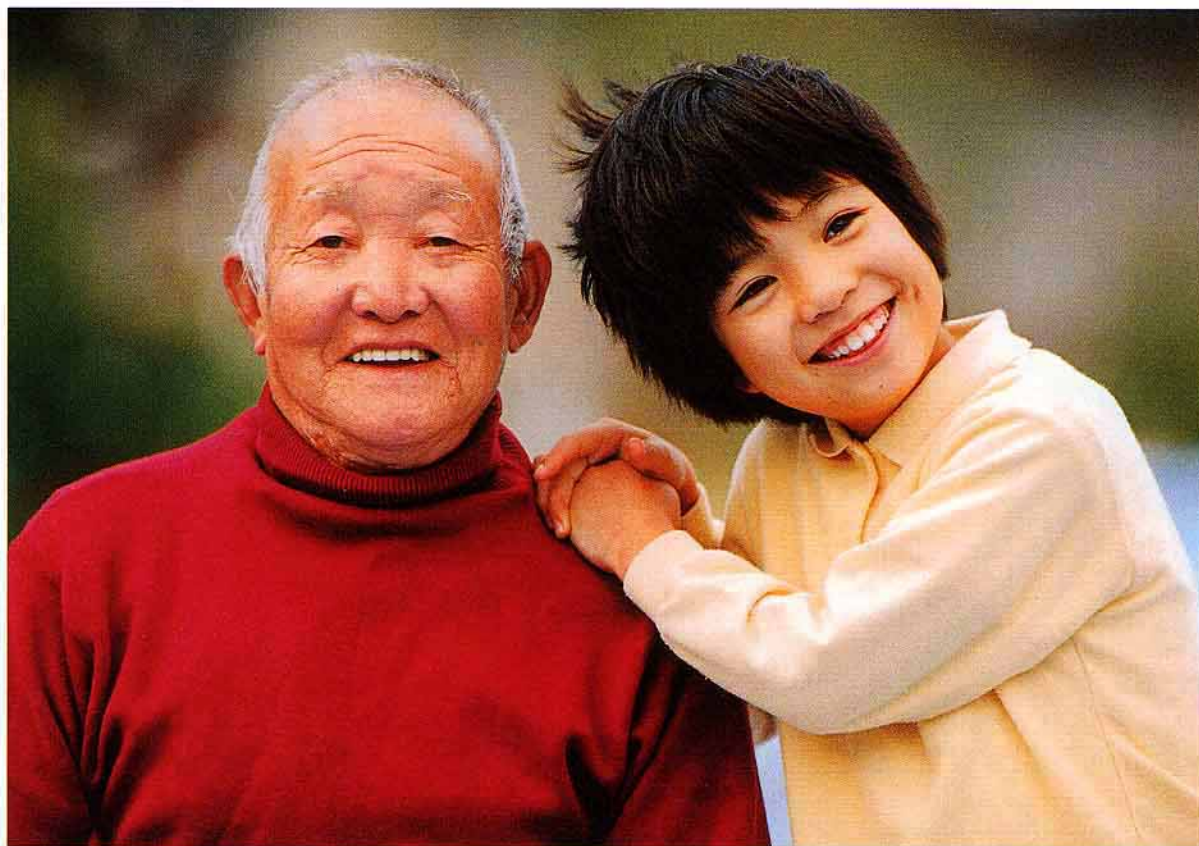
避難者のため、自衛隊が町内3か所に仮設風呂を設置（日野中学校校庭）



県内外から大勢のボランティアがかけつけ、救援活動を展開（下榎地区）



ガレキの撤去や屋根のブルーシート張りなど、ボランティア活動は高齢化の進んだまちにとって復興の大きな力となった（根雨地区）



写真：下巻の中巻三行さんと、孫の平松ちゃん

今こそ愛と元気なまちづくり

10月6日に発生した鳥取県西部地震災害から立ち直るため、今こそ“愛と元気なまちづくり”を合い言葉に、町民みんなで力を合わせて、復興に向けてがんばりましょう。

鳥取県日野町

発行：日野町660 電話：0859-4503 鳥取県日野町日野町役場101 郵便：0859-72-0331 平成12年11月6日

11月10日、震災から1か月がたち、復興の励みにしてもらおうと『今こそ愛と元気なまちづくり』ポスターを全戸配布



一日も早い復興をめざして、住宅の新築、修繕が急ピッチで進められている（黒坂地内）



町は住宅復興補助金として住宅の新築に300万円、修繕に150万円、また石垣や擁壁の補修、井戸の改修にも補助している



応急仮設住宅には被災して自宅に住むことができなくなった人などが入居



黒坂小学校校庭など町内4か所に応急仮設住宅28戸が建設された



10月7日に滝山公園の空き地に災害廃棄物の仮置場を設置、ガレキの回収等復興作業を進める



家屋の解体も公費で行った



阪神淡路大震災を経験した兵庫県北淡町職員から家屋調査の指導を受ける



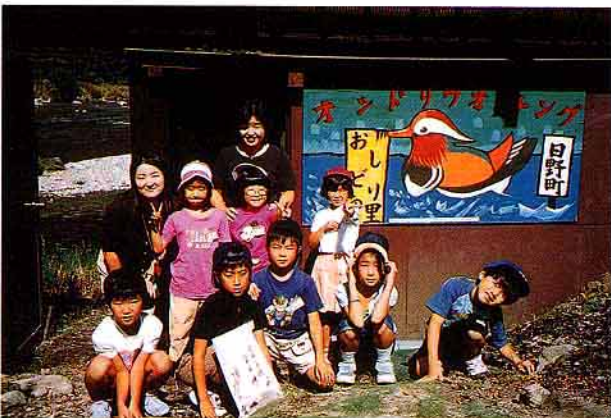
建物応急危険度判定、家屋被害調査を全戸実施



住宅復興補助金の確認申請には1,696件の届け出があった



日野病院は、旧病院が被災したため予定より2か月早めて11月1日に開院（野田地内に新築移転）、中山間地域の医療、福祉、保健の中核として期待される



町のシンボルオシドリの飛来シーズンに備え観察小屋を改築



水路被害で稲が作れないため、下榎地区では大豆を集団転作、消毒作業もミニヘリを使って



地域の活性化をめざし、根雨のまちにチャレンジショップ2店舗がオープン（12月8日）



国土庁運実総括政務次官ら政府調査団が視察（10月7日）



谷農林水産大臣視察（10月16日）



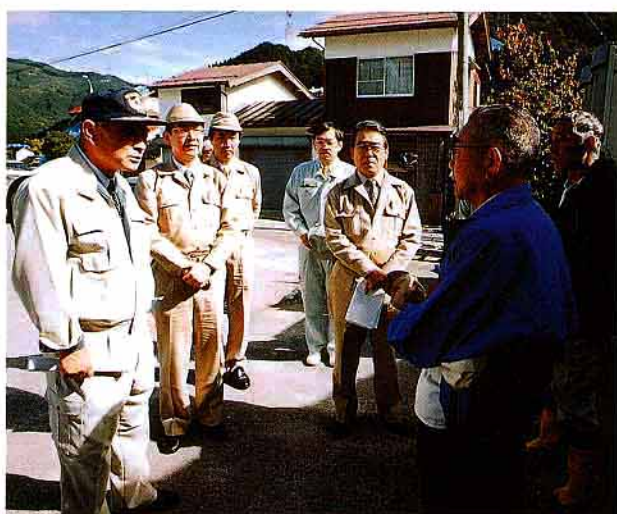
自治省消防庁鈴木長官視察（10月18日）



自治省嶋津財政局長視察（10月20日）



片山善博県知事も住民から直接被害状況等を聞き、激励（10月20日）



建設省松野政務次官視察（10月27日）